

【新規格付け】 龍谷大学

発行体格付け： AA - [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

浄土真宗本願寺派（西本願寺）の僧侶養成機関を発祥とし、龍谷大学および短期大学部を運営する学校法人。1989年に仏教系大学として初めて理工学部を開設し、現在は7学部体制である。京都市と滋賀県大津市に計3キャンパスを有し、大学と短期大学部、大学院を合わせて1万8千人あまりの在籍者を抱えている。

長期的視野に立った堅実な運営により、財務は良好である。1975年以降、収入の確保と教育面の充実とのバランスをとって進めてきたことが経営基盤の確立に寄与した。大学の拡張期に西本願寺から寄付を受けたことも良好な財務構成に結びついている。過去の重要な転機での積極支援を勘案すると、今後も留保資産を大きく減らす状況は考え難く、将来的な財務の安定性は高い。単年度の収支は、事業目的別予算科目の採用や学部別の収支管理により概ね黒字で推移している。2005年度にかけては、新学科とロースクールの設置が続き収支が悪化するが、これらの投資は財政計画に既に織り込んでおり、一定期間後は回復が見込まれる。教職員にコスト意識が浸透しており、少子化社会の進行下でも、収支が一方的に悪化する懸念は小さい。

一般入試の志願者は2002年度の入試改革で大きく回復したものの、再び減少に転じている。志願者数を維持する難関校と中堅校との間で二極化が進んでいることや、関西地区で大学受験者が最も多い大阪府に立地する大学との競争が影響している。ただし、同じ偏差値帯の他大学に対する競争力は維持している。80年代からコース制やセメスター制を取り入れるなど他大学に先駆けて少人数教育に向けた環境整備を進めてきた。2003年度には短期大学部のプログラムが、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に採択された。このような教育の成果をどのように訴え、大学ブランドや全国的な知名度の向上につなげていくかが課題である。

【格付け対象】

発行者：学校法人龍谷大学

名称	格付け	格付けの方向性
発行体格付け	AA - (新規)	安定的

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見を、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務（債券やローンなど）の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。